

意思決定支援

において

大切

にしたいこと

～よりよい支援のために～

杉並区地域自立支援協議会相談支援部会

令和5年度版



＜意思決定支援において大切にしたいこと＞

目次

よりよい支援のためのチェックポイント

- ①本人主体の価値観で支援する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ②信頼関係を築く・・ 1
- ③本人らしさを理解する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ④思いを引き出す・くみ取る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ⑤自立を支援する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ⑥本人の意思を具体化する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ⑦連携・チームで支援する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ⑧家族を含めた支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ⑨地域づくりを意識する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ⑩意思決定支援について学び、考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

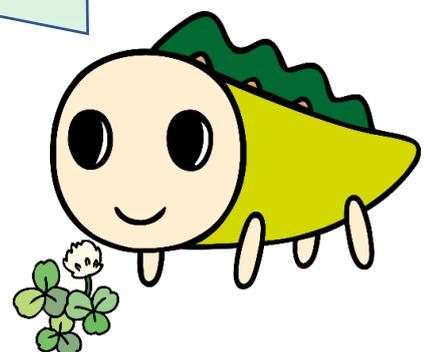
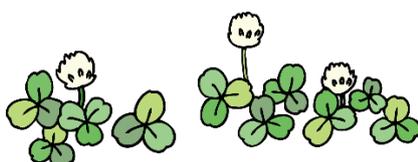
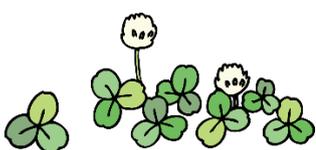
＊別添「確認シート」

この＜意思決定支援について大切にしたいこと＞は、相談支援に関わる支援者と障害当事者の委員で構成されている杉並区地域自立支援協議会相談支援部会で出された意見を形にしたものです。

厚生労働省作成の『障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン』と共に、意思決定支援に役立てていただければと思います。

～例えば、こんなときに使えます～

- ・ご本人、支援者と意思決定に関する確認や話し合いをしたいとき
- ・事業所内の研修、事例検討
- ・支援の中で意思決定支援に悩まれたとき・・・



<<よりよい支援のためのチェックポイント>>

①【本人主体の価値観で支援する】

ポイント

障害の有無や程度にかかわらず、誰しも心の中にしっかりとした意思をもっています。

意思決定支援においては、支援する／されるという関係以前に、対等な立場でご本人に寄り添い、ご本人が常に主体であるという価値観を持ち続けることが大切です。

チェック

- ・支援者が必要だと思ふことを優先していませんか？

→ご本人にとって不利益だと支援者や家族が思ふことでも、ご本人にとって大切な経験になることもあります。

- ・支援者の価値観の押し付けになっていませんか？

→価値観の多様性に目を向け、ご本人が有する価値観がどこから来るのか探っていくと支援の視野が広がることもあります。



②【信頼関係を築く】

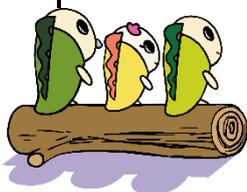
ポイント

意思決定支援においては、まず、自由に意思表示できる信頼関係を築くことが大切です。ご本人と様々な方法でコミュニケーションをとり、お互いを信頼し合える関係づくりを心がける必要があります。

チェック

- ・ご本人と十分なコミュニケーションがとれていますか？

→意思を表出するという事は勇気があることです。ご本人が自由に意思を表明できるという安心を得られるようにコミュニケーションをとって、信頼関係を深めることが大切です。



③【本人らしさを理解する】

ポイント

ご本人の持つ障害特性を理解することで、ご本人が困難と思われることやご本人の行動の意味を理解できることがあります。同時に、障害特性という固定観念に囚われてしまうと、ご本人の個性が見えなくなることもあります。

チェック

- ・障害特性を踏まえた上で、ご本人の個性にも着目していますか？
→ご本人が困難と思われることや楽しそうに思われることについて、その時の場面、理由、状況、ご本人の仕草、表情などを想像してみてください。
- ・ご本人の興味を探ってみていますか？
→ご本人の示す小さな表情の変化や表出されたサインがヒントになることもあります。言葉で表出された場合も言葉の裏に隠れる意思表示があるかもしれませんので、丁寧な関わりが必要です。



④【思いを引き出す・くみ取る】

ポイント

ご本人の思いをくみ取ることは意思決定支援において大切なステップです。思いをくみ取るのが難しい場合は、まず、思いを引き出す工夫をし、単独で引き出すことが難しい場合は、複数人のチームで思いをくみ取っていくことが重要です。



チェック

- ・思いを汲み取る前に支援方針を決めていませんか？
→ご本人の思いを汲み取ることが難しいという理由で、支援者が考える課題解決を優先して支援をしてしまわないように、チームで確認しながら支援を進めていくことが大切です。

⑤【自立を支援する】

ポイント

精神的自立へ向けた支援や将来の生活について一緒に考えること、将来の見通しを持てるように支援することが大切です。

そのためには、ご本人と一緒に目標を立てることと、その目標が支援者の押し付けにならないことが重要です。ライフステージを見据えた、長期的な視点も必要になることがあります。

チェック

- ・支援者の思いや見立てだけで目標を決めていませんか？
→エンパワメントの視点を持って支援を行うことで、ご本人の自己肯定感が高まり成功体験を増やすことに繋がります。ご本人の思いを目標に載せていくことで、目標がより具体化していきます。
- ・ご本人が将来に向けてより良い選択ができるように支援していますか？
→障害特性だけに目を向けるのではなく、ご本人の個性や能力、可能性を最大限に発揮できる支援体制を考えると共に、ご本人が自己決定をしていける情報提示も必要になります。



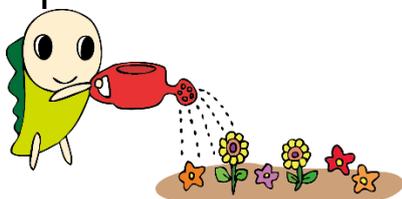
⑥【本人の意思を具体化する】

ポイント

意思決定支援の前にはご本人が意思を表明できているか、ご本人の意思を形成していく支援も大切です。ご本人が持っている力を信じて、意思表明ができるような情報提供をすることで、意思決定の選択肢が広がっていきます。

チェック

- ・ご本人が意思を表明できるような支援ができていますか？
→正しく情報提供をするということは、知る権利を保障することです。情報提供をすることで決定の選択肢が増えて、意思決定をする力を育てることに繋がります。
- ・ご本人への情報提供は、わかりやすく具体的になっていますか？
→障害特性に合わせた情報提供の方法が重要になります。また、ロールモデルや経験できる場を提供することで、本人の思いや考えがより広がり選択肢も増えていきます。



⑦【連携・チームで支援する】

ポイント

意思決定支援のためには、ご本人のことを縦断的横断的に深く知ることが大切です。

ご本人の意思の表出は、時期や場面、体調、聞く相手によっても変わることもあります。

チェック

- ・大切なことを決めるときは、皆で相談していますか。
→ご本人を取り巻くフォーマル・インフォーマルな関係者で、ご本人を中心とした支援チームを作りましょう。
- ・支援チームのコーディネーターはいますか？役割分担はできていますか？
→必要に応じて支援会議を開催するなどして、情報共有、支援方針の共有をしましょう。



⑧【家族を含めた支援】

ポイント

家族を全体として支援する視点を持ちながら、意思決定の主体はあくまでご本人であることを忘れないようにしましょう。

チェック

- ・支援対象は家族全体としてとらえ、家族の話をしっかりと聞いていますか。
- ・それは本当にご本人の意思ですか。
→子どもであっても、ご本人と家族のニーズは異なることがあります。ご家族と一緒に、ご本人にとっての意思決定支援とは何かを考えることが大切です。



⑨【地域づくりを意識する】

ポイント



意思決定支援では、意思を形成したり、意思を表明したりする力を育てるために、日常的に多様な経験や体験を積み重ねていくことが大切です。限られた関係性のみでは、身近な人に大きく影響を受けることが考えられます。仲間など他者との関わりの中で、意思表出が出来る環境が作られます。

支援者が変わってもご本人の人生は物語のようにつながっています。自分らしく過ごすことができる居場所を、意思決定支援で見つける意識をもつことも大切です。

チェック

- ・日頃から地域の社会資源を知るようにはしていますか？

→意思決定支援において、体験を増やすかわかり、選択を増やすかわかりが重要です。そのためには、ご本人の希望実現のために、支援者が日頃から社会資源と結びつき、活用できるように準備することが大切です。

- ・自立支援協議会を知っていますか？

→意思決定支援には、フォーマル、インフォーマル両方の資源の充実が求められます。意思決定支援の結果、社会資源の不足が明らかになった場合は、自立支援協議会を活用するなど、ご本人が自らの意思を反映した生活を送ることが出来るよう取り組みを進めることが大切です。

⑩【意思決定支援について学び、考える】

ポイント

ご本人の意向や望みなどを引き出し、確認しながら「その人らしい生活」が送れるようにすることが大切です。そのためには、支援者の意思決定支援の意義や知識の理解、技術の向上への取り組みが必要です。あわせて実際に意思決定支援を実践しましょう。

チェック

- ・意思決定支援に関する研修受講や事例検討をする機会がありますか？

→職場内で意思決定支援ガイドラインを共有し、理解を深める機会をつくってみましょう。意思決定支援に関する研修や事例検討に参加し、意思決定支援について考えること、また自身の支援について振り返ることがより良い支援につながります。



【発行】

杉並区地域自立支援協議会相談支援部会

【問合せ先】

杉並区保健福祉部障害者施策課基幹相談支援係
(杉並区基幹相談支援センター)

〒167-0032

杉並区天沼3-19-16

ウェルファーム杉並3階

電話 03-5335-7672

